



施設長 小川内秀樹



お年寄りの特養 特養への入所申込みを頂いている方への面接、つまり、事前調査を相談員や看護師と共に進めています。自宅でより、病院や療養施設、老人保健施設で行う事の方が圧倒的に多いのが実情です。

何らかの病気で、転倒による骨折により、自宅から入院し、そのまま帰らずに病院などにおられる方もおり、面接がうまく進んで、特養入所となると、場合によっては、一度も自宅に帰らず、移動ということになります。お年寄りにとって、人生の終盤に、突如として起きてくる出来事に適応していくことは大変な事です。本人の意思で決めていける場合もあれば、そうでない場合も多い訳で、自分で決める場合も運ばれていくだけの存在と思ってしまうもおおしくはないでしょう。私たちがから見れば、新しく入所して来られる利用者ですが、本人から見れば、大事にしてきた自分の人生の続きです。

体にもとり一人が尊厳存在であることを、私たちは、日頃から染み込ませておく必要があると思います。私たちが、お年寄りにかける言葉の一つ、介護の手の一つで、安心して、ここに居ていいんだと思ってもらえるような関わり方を磨いていきたいと思えます。

### 八月のボランティアと実習生

風見とみ子様 金沢順子様 山田国昭様  
大塚満様 協力牧師会の方々  
サマーフェスティバルでのボランティアの皆様  
いつも暑い働きありがとうございます。



(NO.350)  
特別養護老人ホーム  
筑波キングス・ガーデン  
0297(24)5139



藤崎圭子様 川島順子様 長女

母は土浦市旧緑ヶ丘で少女時代を過ごし、母は就職の為、東京に出て父と出会い横浜で結婚生活を送りました。娘二人を育てた母は実に趣味多才な人で、自然観察会、卓球、合唱、ボーリング、写真などなど、洋裁も得意で私たちの服などをミシンでさっと作り上げてくれました。

新しい物も大好きで開業したゆりかもめに乗るため孫二人とお台場まで出かけました。旅行も好きで家には母が撮影した花や風景の写真がたくさんあります。

一人での生活が難しくなり、今回キングスガーデンに入所させて頂きました。職員の方々や入居者の皆様に温かく接して頂き、本当に感謝しています。どうぞ今後ともよろしくお願いたします。



**新入職員紹介**  
**憩いの汀**

1日も早く仕事に慣れ利用者様とのコミュニケーションの時間を取れる様に頑張ります。よろしくお願いたします。  
安斉裕梨果

特養の隣にある、グループホームでカフェがあります。

**火曜日・木曜日(毎週)**  
**土曜日(第2・第4)**

11:00~14:00  
☆是非お越しください☆

地域交流カフェ  
**ぶどうの木**

- 火曜日(毎週)
- 木曜日(毎週)
- 土曜日(第2・第4)

11:00 open ~ 14:00 close

SETメニュー  
 ・珈琲&焼き菓子 (焼酎付) ¥150  
 ・珈琲 ¥100  
 ・珈琲&軽食 (焼酎付) ¥250

神は、われらの避け所である。  
詩編六一編八節

## すいか割り

ヘルパー 野田隆斗

八月四日にすいか割りを行いました。すいかをご利用者様に見せた時に、大きな「重たいな」と仰っておりました。ご利用者様にすいか割に挑戦していただき、すいか割れた時には、大きな歓声が上がりました。すいかを割ったご利用者様もとても驚かれておりました。その後、割ったすいかをご利用者様に召し上がっていただき、「おいしいね、甘いね」と仰り喜んでおられました。とても楽しいすいか割りを行うことができました。



夏の歌も楽しみました



大きいスイカだな~



**野菜収穫の様子**

**虹の架け橋**  
ユニット

**普段の風景**

**仲良しな二人**

**憩いの汀**  
ユニット

大好きなカレンダー作り

**編集後記**

朝晩涼しなり秋を感じる季節になってきました。一日一日を元気に過ごしましょう。

ヘルパー 木村 康井

月	日	行事
九月	三日	日曜礼拝
	五日	ジャズシン理美容サービス
	七日	聖餐式
	十日	大生屋販売
	十三日	書道クラブ
	十五日	家族と共に
	十八日	矢花さんレクリエーション
	二十日	聖書クラブ
	二十三日	日曜礼拝
	二十五日	ジャズシン理美容サービス
	二十七日	聖餐式
	三十日	大生屋販売
	一日	書道クラブ
	三日	家族と共に
	五日	矢花さんレクリエーション
	七日	聖書クラブ

**九月の誕生者**

清野和男様	昭和八年九月二日	八十四歳
植木雅子様	昭和八年九月十七日	八十四歳
野澤千枝子様	昭和八年九月十七日	八十四歳

**お誕生日おめでとうございます**

**新たな事業ファミリィホーム開設**

小さな苗がたく成長し、実を付け垂れ下っていた葡萄も綺麗に刈られ、大きな役割を果たした田んぼは少し静けしげに見えます。一年前の水害にも負けず自然の恵みと人の技に驚きと感謝を覚えます。

キングス・ガーデンの事業の中に「新たに小規模児童養護施設ファミリィホーム(定員六名)隣接して筑波キングス・ガーデンが開設しました。家庭的に恵まれないおさんを預かり、親代わりになつて生活支援をするホームです。開設と同時に三人のおさんを児童相談所から依頼を受け、急にその準備に追われるようにスタートしました。十日間が過ぎやっとながら出来てきたところで、親代わりになるスタッフも神様から与えられ、只々主に感謝です。将来一階のルームは事務所内託児所を計画、これからは働き人の配慮も必要と痛感しています。

特養も二十年が過ぎ、終末ケアを希望される方も多くなり、一日一日家族と共に支え合っている様子が伝わってきます。子供から高齢者、障がい者へと小さな福祉村の夢が膨らんでいきます。主に感謝しつつ。

理事長 宇都宮和子

相談員日誌  
野田 望

朝の証と祈り  
特養では、毎朝九時三十分から、利用者の方々のための礼拝がある。賛美に始まり、お祈りをする。その後に、基本的には牧師先生よりメッセージをいただく。牧師先生の都合がつかない場合は、職員が証を行うこともあり、先日は私が行った。証の内容は自分の名前についてだった。私の両親はクリスチャンで、名前は聖書からいただいた。望みを抱いて喜び、艱難に耐え、絶えず祈りに励みなさい。ローマン(の手紙)十二章十一節「望みを抱く」とあるが、神様から来る望みに勝るものがないことに大勝するにつれて、身に染みるようになっていく。人の持つ「望み」は不確実で、自らの思いに影響を受けやすいものが多い。神様から来る「望み」は土台の部分が「愛」で出来ている。また、永遠という時間軸があるため、「死んで終わり」というものではない。終わりのない望みを抱いて、利用者の方々と共に祈る。今日も元気で楽しい一日となりますように!

機関紙ほほえみの記事は、筑波キングスガーデン個人情報保護方針に基づき、了解を頂いた上で掲載させて頂いております。